

発行 佐呂間町役場

48. 4. 5

No. 187号

印刷 井谷印刷株式会社

人の動き

世帯数 2,641

人 口 9,941

男 4,842

女 5,099

3月31日現在住民
基本台帳人口

アーンして……………ムシ歯がアルネ、上手に歯をみがきましょ。

4

「原点」にかえてってということばがあったが、昔にかえてってカゴと足でのんびりいったらどんなものだろう。

そういえば五月から、車の排気ガスの規制が法文化されて、点火位置の調整をしなければならぬ「公害」をまき散らす元祖では規制も止むを得ないが、文化生活とはまことに窮屈でもある。

寒さは完全に峠をこしたが、残雪がまだ冬の名残り？をとどめている。しかし、日中の気温はどんどん上ってぐんと春らしくなってきた。「長い長いトンネルをくぐりぬけたら、そこは春だった」これだから北国の活気づく季節である。

卯
う
月
づき

公平適切な行政執行によつて

住民の信頼を確保する

道路交通網の整備

福祉行政の強化

町長 施政方針説明

円千万3億 りくづく町

昭和四十八年度の予算提案に当り、町政の執行方針について申し上げます。

私は、昨年の町長選に際し、今後の町政担当について、町民各位に具体的に訴えたのであります。従つて、選挙を通じての公約は原則的に行政の重点でなければならぬと思ひます。

即ち、産業振興によつて住民生活の安定向上を図り、有能な後継者を確保し、所得の増大が自治体を媒体として町民の生活条件を整え、教育の振興を図り、交通網を整備し、福祉行政の強化によつて明るい住みよい郷土建設の原動力となる姿勢にしなければならぬと決意を致しております。

しかしながら、今日の国際、国内の厳しい経済の現状から、行政の基本態勢を貫くため、自からの努力は勿論であります。政府、国

会に対する要請を強く推進する所存であります。

行政の執行にあたっては、その内容が町民各位に充分な理解を求めることが極めて大切と存じます。生活、生産の態勢が急激に変伸し、このような実態の中から各種各様の問題が提起され、しかも、量的拡大、質的改善を求められるのであります。これらの要望に応えることが行政本来の目的であり、そのことが住民生活の向上であると思ひ得ておりますが、限度ある財力と公的に恩恵を受ける者も町民であり、恩恵を与える者も町民であり、したがって、ことの大小は別として、公平適切な執行によつて、行政に対する高い信頼度を確保することが大切と存じます。以上の町政執行の基本態度に基づき、重点事項についてその概要を申し上げます。

産業振興対策

農 業

本町農業は、適地適産の原則をふまえながら、酪農を基本として永年に亘り努力を払って来たところであります。幸い、昭和四十二年度策定の酪農振興計画は、農業団体、農家各位の努力によつてほぼその目標に到達、昨年新たな振興計画の指標を示したのであります。しかしながら、農業をめぐる諸状況は極めて厳しい現況であり特に重要課題である農家負債、畑作共済制度の確立、肉価格基準の引上げ、乳価保証、土地基盤整備主要農産物価格対策等については強く政府に改善と確立について要望する決意であります。

町農政としては、生産性の向上労働生産性を高めるため、土地基盤整備、農業農村の環境整備を主軸とし、新たに北富地区道管畑地体総合土地改良事業、川西地区団体管土地改良事業、各地区の営農用水対策、仁倉園管明渠排水事業の新規着工の準備態勢。

生産経営については酪農、ビート収穫機械の助成、牧野整備、農道整備の促進を根幹として配慮したのであります。

本年は、待望の農協合併をむかえ、新生組合の創造性に富んだ発想が期待されることと確信致しており、一層協力を強め、農村の発展に微力を尽す所存であります。

林 業

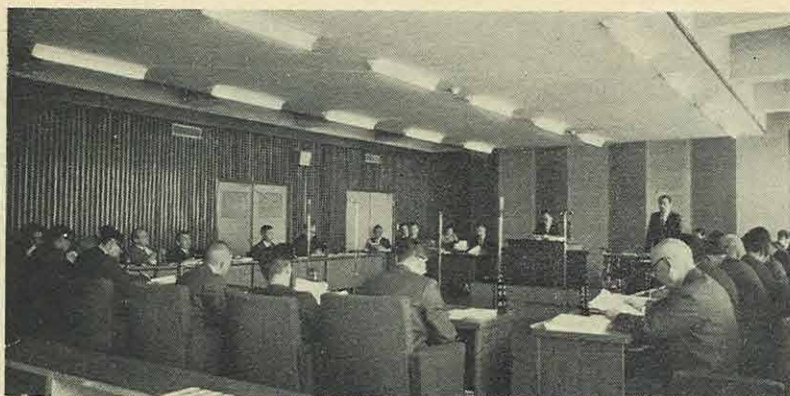
昭和四十七年度において、町内林業の基本対策を実施致したのでありまして、これが今後の育成に努めるほか、カラ松消流対策の一環として、森林組合による加工工場の新設を促進し、併せて林力の造成を進め、林業経済の発展を図りたいと思ひます。

漁 業

永年検討が続けられたサロマ湖口の開削の年をむかえ、湖内養殖漁業発展の上に期待をよせる年であります。また、本年予定事業としては、昨年の暴風高潮災害による海岸防波堤施設をはじめ、若里漁港の修築、若里漁免道路の着工養殖作業施設の造作、漁家住宅団地の造成など漁村の態勢を要する事業が発足するのでありまして、このような背面整備によつて一層の近代化が進められるものと確信します。

中小企業

中小企業の振興は、地場産業の盛衰に深い関連のありますことは論をまたないところでありますが、企業者自らの経営努力によつて町内購買力の完全吸収に努めることが肝要であり、行政分野においては、商業指導の強化、経営資金の充実



14 豊かな

従業員指導を図り、経営安定に寄与致したいと思ひます。

観光

年次順調に増加する観光客が、一様に要望する問題は、宿泊施設の整備、道路整備、原生植物の保全であり、現況は要望のよう配意する多くの点を内蔵致しており、これらの解決促進のため本年度は、キムアネツプ地区の道路整備をはじめトカロチ地区の公衆施設、富士土地区の国民宿舎の建設を検討、更に、昨年指定を受けた自然休養林の整備計画と、国定公園による新たな園地計画を調和した全体的計画の策定に努め、利用効率の高い観光地の実現に努めたいと考えております。

産業人教育

過去、農業後継者教育については、学園の設置により今日まで一五名の卒園者を送り、九〇名のものが後継者として精励しておりますが、最近の後継者は高卒、短大、大学と高度の教育を修めたものが多く、本年度をもって学園閉鎖の見込みであります。

従いまして、今後の学園施設は、農林漁業者の中堅

者教育に切替へ、再発足を検討中であります。

なお、本年からは新たな施策と

若佐中学校改築 佐小増築など

文教

町内教育施設の改善については年次微力を尽して参りましたが、本年度においては佐呂間小学校の増改築、若佐中学校の全面改築に着工し、教育環境の整備に努めたいと考えております。

道路整備

産業の振興と住民生活の基調をなす道路整備については、単独施行、或は土地改良等の関連施行をもって鋭意努力して参りました。

本年度においては、富士土路線の舗装完了をはじめ、市街地周辺の改良整備、若里地区の農免道路の着工、更に継続中の計呂地線、五十一号線、若佐三十九号線の促進を図りたいと思ひます。

橋梁整備については、啓生豊田橋の永久橋化の着工を計画致しております。

民生福祉

福祉行政を進めるにあたり、基本的に住民の経済力等も充分勘

して、中堅者の海外視察によって広い視野にたつた産業人の育成に努めたい所存であります。

児童

四十七年度新築した町立幼稚園の開設、遊園地の整備、交通災害から児童を守る施設整備につとめたいと思ひます。

保健衛生

若佐地区における歯科診療所の開設をはじめ、成人病及び結核の多発に鑑み、徹底した検討の実施を図りたいと思ひます。

生活環境整備

人口密集地域における道路、排水、歩道の改良、ゴミ処理の強化、街路灯の設置、樹木園の整備等を進め、清潔な環境造りに努めたいと思ひます。

特別会計

町有林会計

木材の高騰と一般会計の財源充足のため一部施策計画を変更し、二、〇〇〇万円を繰り出す計画であります。

国民健康保険会計

老人医療をはじめ受診率は年次増大の傾向をたどり、保険財政が極めて困難な状況にあり、従って保険料の強化と一般会計からの理論的繰り出しを行ない、財政の健全化に努めたいと考えております。

その他の会計

水道会計をはじめ利用者負担の原則に基づくものについては、物価、人件費の高騰に対処するため昭和四十九年以降の運営について財政的に如何に対応すべきか、特別委員会等の構成によって具体的検討を致したいと考えております。以上の行政方針を具現するため一般会計一億四千二百六十五万五千円、特別会計二億七千九百五十万一千円、合計一億四千二百六十五万五千円を計上提案した次第であります。これの執行に当りましては、私をはじめ全職員が住民サイドの姿勢にたち効率的な推進に最善を尽くす決意であります。

昭和48年度 会計別当初予算

一般会計	11億4千226万5千円
町有林会計	5千47万5 "
佐呂間簡易水道会計	1千543万7 "
浜佐呂間	252万5 "
富 武 士	161万1 "
若 佐	359万4 "
栄	214万5 "
若 里	2千705万2 "
と 場 会 計	520万 "
通学自動車運行会計	54万 "
一般乗合旅客会計	1千207万8 "
国民健康保険会計	1億7千92万2 "
計	14億3千384万4千円

才入才出の主なもの

前年度と対比

才入

▽町 税
四八年当初 八千三十三万七千円
四七年 " 七千一二六万一千円
差 引 増 一千二七六万六千円
町税については、自然増のほか農業所得、漁業所得が一昨年に比べて良好だったので、平年に比べて増になっており、そのほか町たばこ消費税、固定資産税の自

然増もある。一方、木引税については減になっている。

▽地方交付税

四八年当初 四億九千一〇〇万円
四七年 " 四億二千七十八万八千円
差 引 増 六千三二〇万二千元
地方交付税については、前年度の実績を基盤にして算定されているが、行政需要費の自然増を見込

▽使用料及び手数料

四八年当初 三千六千六千円
四七年 " 二千六十七万九千円
差 引 増 三二二万七千円
使用料及び手数料については、前年の実績を基に算定しているが伸びの主なもの公営住宅、公民館、幼稚園、ブルトーザー、牧野使用料などである。

▽国庫支出金

四八年当初 一億五千八百七十七万七千円
四七年 " 一億一千三百七十八万八千円
差 引 増 四千五百〇四万九千円
国庫支出金については、新たに老人医療費支給負担金、若佐中、佐小増改築工事補助、富武士原野道路舗装補助、芝農道、啓生牧野橋補助などが大きく、逆に災害復旧補助が大きく減額になっている

▽道支出金

四八年当初 四千六十八万五千円
四七年 " 四千三百八十一万三千円
差 引 増 三〇八万二千元
道支出金の伸びの主なもの、農地集団化負担金、老人医療費事業補助、へき地保有補助などである。

▽財産収入

四八年当初 八六八万八千円
四七年 " 二八九万三千円
差 引 増 五七九万五千円
財産収入の伸びの主なもの、貸付牛乳代、町有土地売却代などである。

▽繰入金

四八年当初 七千九百七十一万四千円
四七年 " 二千三百四十七万七千円
差 引 増 五千九百三十三万七千円
繰入金の伸びの主なもの、牧野事業基金、体育館建設基金、文教施設整備基金繰入金などである

▽諸収入

四八年当初 七千二百二十万二千円

四七年 " 六千四三八万八千円
差 引 増 五六四万二千円
諸収入の伸びの主なもの、金利子、木材乾燥工場経営資金貸付金収入、共済融資住宅建設工事収入、林業構造改善事業推進交付金、北海道信用保証協会貸付金償還金などである。

▽町債

四八年当初 一億四千三百六〇万円
四七年 " 八千二百〇万円
差 引 増 六千一四〇万円
町債の伸びの主なもの、佐小若中増改築町債、富武士原野道路改良工事債、体育館建設工事債などである。

才出

▽議会費

四八年当初 一千九百六十八万八千円
四七年 " 一千五百五十六万六千円
差 引 増 四〇五万二千元
議会費の伸びの主なもの、議員報酬、職員手当などである。

▽総務費

四八年当初 一億二千七百三十三万二千円
四七年 " 一億一千六十八万八千円
差 引 増 一千八十五万二千円
総務費の伸びの主なもの、給料諸手当の自然増、職員住宅改築工事費、庁舎補修工事費、共済住宅償還金などである。

▽民生費

四八年当初 一億六千七百八十六万六千円

才入

凡例	48年度	47年度	単位千円	5千万	1億	2億	3億	4億	5億
町税	83,537	71,261							
地方譲与税	7,000	7,000							
自動車取得税交付金	7,000	7,000							
地方交付税	491,000	427,898							
交通安全対策交付金	150	180							
分担金及負担金	876	1,032							
使用料及手数料	30,006	26,179							
国庫支出金	158,777	113,728							
道支出金	46,895	43,813							
財産収入	8,688	2,893							
繰入金	79,714	20,347							
繰越金	15,000	14,900							
諸収入	70,022	64,380							
町債	143,600	182,200							

才出

凡例	48年度	47年度	単位千円	5千万	1億	2億	3億
議会費	19,608	15,556					
総務費	127,732	116,880					
民生費	106,786	127,562					
衛生費	30,937	18,684					
労働費	9,899	7,796					
農林水産業費	163,938	138,875					
商工費	22,563	21,821					
土木費	203,068	133,168					
消防費	27,638	28,154					
教育費	114,705	278,195					
災害復旧費	41,546	74,819					
公債費	75,641	59,167					
諸支出金	29,239	18,736					
予備費	5,475	6,788					

四十七年当初

一億二千七百五十六万二千円

差引減 △二千七百六十六万六千円

民生費の減額は、体育館建設費
老人いこいの家建設費が前年度限
りでなくなったことが大きな原因
で、増額の方としては、老人医療
費が前年度の約三倍と大きく伸び
ている。

▽衛生費

四十八年当初 三千九百三十七万七千円

四十七年 一千八百八万四千円

差引増 一千二百五十三万三千円

衛生費の伸びの主なものは、歯
科診療所整備工事費、ゴミ焼却炉
設置工事費、浜佐呂間零号線排水
整備工事費、乳幼児医療費助成な
どである。

▽労働費

四十八年当初 九十九万九千円

四十七年 七十九万六千円

差引増 二一〇万三千円

労働費の伸びの主なものは、一
般失業対策事業費である。

▽農林水産業費

四十八年当初 一億六千三百三十九万八千円

四十七年 一億三千八百七十五万五千円

差引増 二千五百〇六万三千円

農林水産業費の伸びの主なものは、トカロチ牧野ほか給水施設工
事、飼料基盤整備事業負担金、地
籍調査請負費、木材乾燥工場経営
資金貸付金、畑地総合土地改良事

(次葉四段へ)

昭和四十八年度

事業計画の主なもの

◎総務費

職員住宅新築工事

八四九万九千円

バス待合所建設工事

二〇万円

防犯灯設置工事

二四万五千円

庁舎補修工事

六二万六千円

◎民生費

若佐児童公園整備事業

三七万四千円

栄児童公園整備補助事業

二二万円

保育所そと便所新設工事

一二万円

精薄、身障者、ねたきり老人対策

六六万五千円

樹木公園整備工事

六六万一千円

◎衛生費

ゴミ焼却炉設置工事

一五七万五千円

母子栄養強化食品事業

四九万三千円

一般成人病対策費

二四万円

浜佐呂間零号線排水工事

九一万四千円

若佐歯科診療所設置工事

三九万六千円

乳幼児医療対策費

一七四万二千円

◎労働費

失業対策事業費

五五九万八千円

◎農林水産業費

農業後継者対策費

一四五万円

農地集約化事業

二七七万八千円

農地帯総合土地改良事業

一四六万五千円

団体宮川西地区畑総事業

七二五万九千円

地籍調査事業

七四八万八千円

町有牧野改修工事

一七六万二千円

飼料作物收穫機械導入事業

四八〇万円

生乳搬出路整備工事

四三八万円

パトック設置事業

八九万円

牧野給水施設工事

三〇〇万円

飼料基盤整備事業

三五二万八千円

林業構造改善事業

二二七万五千円

◎商工費

牧道改修工事

二二万五千円

知来第二牧野砂防工事

二九万一千円

キムアネツツ岬キャンプ場整備

五〇万円

◎土木費

富武士原野道路舗装工事

四七七八六万円

中国地区団体宮農道整備事業

一四二二二万円

市街南裏歩道舗装工事ほか

二二五万円

佐呂間富丘間道路改良工事

九〇〇万円

若里地区農免農道整備事業

四七二万五千円

二九号道路舗装工事

四二二万円

啓生牧野橋架替工事

三三〇一八八千円

道路破損一般補修工事

二〇〇万円

若里西二線道路土盛工事

一五万一千円

共立、中国間道路側溝工事

二七万五千円

大成中央道路新設工事

三七万四千円

ダンプトラック購入費(第一次分)

一〇八万円

公営住宅物置改修工事(低家賃舎)

一三一万四千円

公営住宅補修工事

二五〇万三千円

公営住宅建設費

三三三〇六万円

町道草刈り事業

四〇万円

除排雪事業

一〇〇万円

佐呂間富丘道路改良、水道移設工事

一八五万円

一般橋梁補修工事

六〇万円

(前業より)
業負担金などである。

▽商工費

四八年当初 二二二五六万三千円

四七年 " 二二一八二万一千円

差引増 七四万二千円

商工費の伸びの主なものは、キムアネツツ岬観光施設工事費などである。

▽土木費

四八年当初 二億三〇六万八千円

四七年 " 一億三千三一六万八千円

差引増 六千九百九〇万円

土木費の伸びの主なものは、富武士原野道路舗装工事、佐呂間富丘間道路改良工事、二九号道路舗装、中国地区団体宮農道整備事業、啓生牧野橋新設工事、公営住宅二十戸建設工事などである。

▽消防費

四八年当初 二七六三万八千円

四七年 " 二二八一五万四千円

差引減 △五一万六千円

消防費の減の主なものは、遠軽地区消防組合支署負担金が減額になったものである。

▽教育費

四八年当初 二億七千八一九万五千円

四七年 " 一億一千四七〇万五千円

差引増 一億六千三三四九万円

▽公債費

四八年当初 七千五百六十四万一千円

四七年 " 五千九百一十六万七千円

差引増 一千六百四十七万四千円

公債費の伸びの主なものは、町債の元利償還金などである。

教育費の伸びの主なものは、若佐中学校改築工事、佐呂間小学校増築工事費、幼稚園費、体育館建設工事(第二次分)、老人いこいの家前添整備工事、グラウンド、プール整備工事費などである。

▽災害復旧費

四八年当初 四千一五四万六千円

四七年 " 七千四八一万九千円

差引減 △三三三二七万三千円

災害復旧費の主なものは富武士川災害関連工事である。

▽諸支出金

四八年当初 二千九二二万九千円

四七年 " 一千八七三万六千円

差引増 一千五〇万三千円

諸支出金の伸びの主なものは、国民健康保険特別会計繰出金、若佐簡水会計繰出金、若里簡水繰出金などである。

●消 防 費

消防ポンプ自動車購入 一七万三千円
 四〇〇万円
 防火水槽新設工事 三三〇万円
 空気呼吸器購入 二八万二千円
 消防栓新設工事 三四万円

●教 育 費

若佐中学校改築工事 五千四三一万二千円
 佐呂間小学校増築工事 一八八五九万二千円
 へき地教員住宅建設工事 二六四万円
 教員住宅塗装工事 二二万一千円
 仁倉小学校電線改修工事 一七万三千円
 佐呂間小教室電気工事 四二万五千円
 富士小グランド金網取付 三七万五千円
 幌岩小グランド整備工事 六七万二千円
 富士小小自転車置場工事 二二万六千円
 若佐プール整備工事 四〇万九千円
 体育館整備工事 六四万円
 特別教材備品購入 二八〇万一千円
 新教育教材備品購入費 一七〇万円

春の交通安全道民運動

四月六日～十五日まで

全国、全道一斉に展開される「春の交通安全道民総ぐるみ運動」は、四月六日～十五日までの十日間、次の要領で運動が推進される。

▽全国統一スローガン

新入学入園児童幼児を
 交通事故から守ろう

かけて安心、ころばぬ先のつえ

一日一円の

「交通災害共済」に加入しましょう

▽重点目標

- 1 スクールゾーンの設置促進とその定着化
- 2 母親と子どもに対する交通安全教育の充実
- 3 運転者等に対する交通安全指導

町交通安全対策本部でも、関係団体と協議して、この運動を徹底して推進します。

国 民 年 金

最近の生活をとりまく環境は、めまぐるしい経済成長のなかで、物価の上昇や公害、交通事故などによって悪化する一方です。
 このようななかで、誰しもが考えることは老後のことで、身近に迫った切実な問題として大きく浮びあがってきました。

年金問題、特に老後生活で老令年金のしめる効用は非常に大きいものとなっています。
 本年は「年金の年」として、制度の大改善が進められており、現実に見合った年金を実現するために大きく前進する年になると思います。今後、年金制度を住民の生活に根ざしたものにするためにも、よく制度を理解しなければなりません。

気がつかないままに、不利益をこうむることがないよう年金の仕組みについて、毎月の広報紙上に制度の内容をわかりやすく掲載していますので、よくお読みになって、制度をおぼえておきましょう。今月は前回に引続き保険料の免除について説明いたします。

●保険料免除

- ①法定免除……前月にて説明
- ②申請免除

当したひとからの申請によって行なわれます。申請して認められると免除になります。

- (1)所得がないとき
- (2)加入者やその世帯のひとが、生活保護法や、らい予防法による援助をうけているとき(例えば教育扶助、医療扶助など)
- (3)障害者または寡婦で、年間の所得が法令で定める額以下のとき
- (4)保険料を納めることが、著しく困難なとき。

申請免除の効力は、その年度だけのものですから、年度を超えるときは再び免除申請の手続きをしなければなりません。

なお、これら免除された期間の年金額は、普通に保険料を納めたひとの三分の一に減ります。その費用は、全額を国が負担するので、

また、免除されたひとが、その後生活に余裕ができたときは、十年前までさかのぼって保険料を追納することができ、余裕ができたときに納めておいた方が有利です。

この保険料は、免除期間当時の保険料額を納めればよいのです。

本年度 社会教育の重点

近年、急激に移り変わる社会構造の中において、これに対応する環境整備と、多様化した住民の要望に応えながら社会教育を効率的に推進するための施策として、本年は次の要領で行なっていくたいと考えられます。

▼生涯教育の観点にたった社会教育の計画的な推進を図る。
生涯教育の教育課題を明確化する。

▼社会教育施設の充実を図る。
・市民の多様な個人選択的欲求を満たす教育的、機能的、専門施

設の拡充整備を図る。
・関連行政諸機関と連携を密にし有機的、効率的な社会教育活動の推進を図る。

▼社会教育団体の育成を図る。
あらゆる行政は、住民にあるとの基本原則にのっとり、多様化

した住民の生活意識、欲求等を実現した社会教育関係団体（地域集団、目的集団とも）の育成に当っては、極力自主的活動を助長し、ボランティアリーダーの発掘養成に努めるとともに、更に新しい集団の組織化に努める

昭和48年度 佐呂間町社会教育方針

重点目標	別	継 続 事 業	新 規、努 力 事 項
1. 将来に満ちた明るい青少年を育てる — 青少年教育の振興充実 —	組 織 事 業	- 青年団体活動の充実 - スポーツ少年団の育成助長 - 産業後継者の育成 - 新就職者研修会への参加 - 勤労青少年の集いの開催 - 農業学園の新設	- ボランティアの発掘 - 地域子ども会の普及 - 青年活動研修会の開催 - 少年団体交歓会の開催
2. 安定と調和のある家庭をつくる — 成人教育の充実振興 —	組 織 事 業	- 各種地域、目的団体の活動促進 - 家庭教育学級の充実 - P T A本来活動の充実 - 家庭教育親子文庫の開設 - 社会学級講座の開催	- 地域、目的婦人団体の自主的活動機能の充実 - 町民の講座の充実、特に成人、高令者学習機会の提共 - 家庭教育（幼児期）相談事業の開設 - 内容の充実
3. 健全な文化の生活化に努める — 文化芸術活動の充実 —	組 織 事 業	- 佐文連活動の振興 - 各種文化、芸術の振興 - 読書活動、図書室の拡充 - 文化財保護思想の啓蒙 - 文化祭の開催、協力	- 各地域の芸術文化の交流普及を工夫する - 町民文化の質的、量的振興に努める
4. スポーツの生活化に努める — 社会体育の普及推進 —	組 織 事 業	- 体育協会の充実、振興 - 体育指導者の適正配置 - 各種社会体育組織の普及、協力 - スポーツ教室の開設 - 体力テストの実施	- 各部活動の連盟化を進める - 職場内体育活動の振興に努める - 町営施設の運営設備の充実 - 町民スポーツ大会の種目別自主的参加体制の確立 - 指導体制の確立
5. 住みよい豊かな佐呂間町をつくる — 地域社会教育の振興 —	組 織 事 業	- 各種住民、道民運動の協力展開 - 公民館活動の促進 - 住民自主的研修の促進	- 他行政との連携強化と教育主導性の確立 - 研修内容の充実
6. 近代的施設設備の充実をはかる — 社会教育関係条件の整備 —	組 織 事 業	- 社会教育施設の充実整備 - 視聴覚、広聴活動の充実 - 人的、物的条件の拡充	- 広報活動の充実 - 視聴覚教材の研究利用促進 - 社会教育関係役員研修

二等陸士、二等海士及び二等空士の募集をしています



一、応募資格
採用予定月の一現在で、十八才以上二十五才未満の中学校卒業程度の能力を有するもの。

一、試験科目
中学校卒業程度の学力について行なう筆記試験（国語（作文を含む）、数学、社会）身体検査、適性検査及び口述試験とする。

一、募集期
第一次（四月～六月）第二次（七月～九月）第三次（十月～十二月）第四次（一月～三月）

町では、乳児の健康の保持と、福祉の増進を図るため、こんど新たに「乳児医療費の助成に関する条例」を制定し、この事業を本年四月一日から実施することになりました。

対象児

佐呂間町に居住し、住民登録をしている満一才未満の乳児（0才児）とします。

乳児医療費の助成を受けるための手続き

乳児医療費の助成を受けるため

には、印かんと加入している各種健康保険証を持参し、「乳児医療費受給資格登録申請書」を役場に提出しなければなりません。（この用紙は役場民生課、支所、出張所にあります）

乳児医療費受給資格証を交付します

受給資格者として認定されたかたには「乳児医療費受給資格証」が交付されますので、次のことを守ってください。

(1) 資格証は大切に保管し、紛失な

どときは、届け出て再交付を受けてください。

(2) 病院などに通院または入院するときは、加入している保険証と一緒に資格証も忘れずに病院の窓口へ提出してください。

(3) 対象児または受給者の氏名、住所等が変わったときはすみやかに届け出してください。

(4) 資格がなくなったときは、資格証を返還してください。

(5) 保険者（加入している保険）が変わったときも届け出してください。

乳児の医療費が

無料になります

医療費の助成の範囲

(1) 乳児医療費受給対象児が医療機関（歯科を除く）に通院または入院し、保険診療による医療費のうち、保護者が負担する全額を助成します。但し、健康保険組合、共済組合などの家族療養費の付加給付があるときは、その額を除いた額を助成します。

(2) 保険診療による医療費とは、健康保険法で定められた範囲で、それ以外の費用は助成の対象になりません。

医療費の助成の方法

医療費の助成は、すべて現金給付とします。これは、対象児が医療機関に通院または入院したとき保険診療の自己負担分を医療機関の窓口で一担支払いをして、あとで役場から「乳児医療費助成金交付申請書」によって助成金を受けとります。

(1) 町内の病院、医院には「乳児医療費助成金交付申請書」用紙が備付けてありますが、町外の病院等に通院、入院するときは、役場または支

所、出張所で用紙の交付を受けてから診療を受けるようにしてください。

医療機関では、助成に必要な事項を記入します。

(2) 診療のうけた月分の医療費は、翌月の十五日までに「助成金交付申請書」を役場に提出しますと、その月の末日までに受給者に支払われます。

そのほか詳しいことは役場社会係におたずねください。

— 4月1日から実施 —

「おかげんはいかがです」

保健婦です



今回は腎臓についてお話しします。

じん臓

腎臓は背骨の両側で、ヘソの高さより少し上にあり、インゲン豆形をした片方わずか一五〇グラムほどで、よく肝臓といわれるように、人間の体にとって腎臓は非常に大切な臓器です。

腎臓の役目の第一は、尿をつくらせて出すところで、これは、からだの中にできた廃物を、からだの外に出してしまふのです。

腎臓は一つの濾過器で、血液を濾過する器械です。血液が腎臓を流れ、血液の蛋白質等の分子の大きいものを除いた不必要なものが濾過されて出てくるのです。

この濾過された液の量は一昼夜に一四〇リットルという大変な量になるのですが、このように多量の水分をそとに出しては、干ばしになりますので再吸収して体

の中にもどすようなしくみになっています。

このあまったものが尿として、一日一・五リットルから二リットル体のそとに出ていくのです。

尿の九五パーセントは水分です。尿色素（黄金色）で着色されて、肉食では酸性に、菜食ではアルカリ性に傾き濁っています。

腎臓へ流れてくる血液の量は、心臓から出る血液の五分の一ですが、あとの五分の四が、からだ全体にまわります。

仮りに腎臓のぐあいがあるいと心臓の動きがぶくなくなり、心臓がわるくなると腎臓の動きはぶくなくなります。腎臓を流れる血液の量が少なくなると（血行が悪くなる）血圧が上がります。

また、血液の量と組成を一定に保つのに最も大切な調節作用を行います。水分の量が多すぎれば希薄な尿を多量に出し、少なければ尿量を減らします。酸や、アルカリを適度に出し、体液を弱アルカリ性に保つようにします。

これは特にホルモンの働きが関係しています。

腎臓の病気で一番多いので「腎炎」です。この八割は「へんとう炎」が原因でおこっています。

度をこえた運動、カゼ、寒さは大敵です。ですから腎臓を大切にあつかうには、これらのことに気をつけなければいけませんね。

暖候期の予報が

発表になりました

三月十日に発表された予報に基づき、網走支庁管内の天候は、おおむね次のように経過しました。今年も、極端な寒気は相変わらず強く、今冬の天候は北半球全体の規模で、異常気象が続いております(一二月の異常な暖かさなど)。

この傾向は、今後も尾を引くおそれがあり、近年のくせになって

います。

このため、春から夏にかけての天候も変動が大きく、異常性の強い天候が現われるおそれがあります。

春(四・五月)

四月のはじめには、大陸の高気圧が勢力をふり返し、寒さのものがあがり、雪の降る日もあります。しかし、今年の冬は降雪が少なかったため、根雪の終りは平年より早めで、三月下旬末から四月上旬山間部でも四月中旬末ごろと予想されます。

その後、中旬には移動性高気圧の影響で、温暖な日が多いでしょう。しかし、下旬には一時寒冷な高気圧におおわれて、冷えこみの強い日も現われるみこみです。

五月上旬は、移動性高気圧がひんぱんに通るようになり、高温、乾燥した好天が多いみこみで、風の強い日には、斜網地方では風害の発生する恐れがあります。

五月後半には、再び寒気の流入により、気温も低めで、曇雨天の日がめだつてきましよう。雨量はやや少なめで、日照時間は

やや多めと思います。

初夏(六月)

五月末から六月はじめには、オホーツク海高気圧のはしりも現れ、雲天の日がめだちますが、気温、日照ともにおおむね平年並みの経過をします。

しかし、局地的な大雨の降るおそれがありますので注意してください。月末ころには、オホーツク海高気圧が強まり、雲の多い日が多くなりましよう。なお、五月末から六月はじめの晴れた夜には晩霜に注意してください。

夏期(七・八月)

時期はまだはっきりしておりませんが、六・七月の間で二回ほど寒気の南下する時期があり、オホーツク海高気圧の影響をうけやすくなる天気がめだち、梅雨前線が北上して来たときには、大雨の降るおそれがあります。

七月末ころからは、夏らしい天候も現われますが、夏型の気圧配置は長続きせず、八月後半には不順な天候となりそうです。

また、早冷傾向が強いので、気温も急速に下がってくるでしょう。雨量は夏期間を通じて多くなり、日照時間は、平年以上と考えられます。



オホーツク海の流水が

NHK

「新日本紀行」で

四月に全国放送

オホーツク海の流水が、NHK「新日本紀行」で取り上げられることになり、北見放送局の取材班が一月末から取材を続けています。この取材に当たっている北見放送局の室瀬担当プロデューサーは、この番組のねらい、内容について次のように語っています。

北見の海オホーツクは、一月末から二ヶ月間流水によって広大な平原となる。その間漁民は収入の道を閉ざされ静かな眠りにつく。大自然のナゾめいた力の前に、無力な沿岸の人々の存在は孤独である。

わずかに氷下漁や、氷の祭りが人々の生きる証明となる他は、ひたすら海明けを待つ、そして流水の去る頃、一度に吹き出す躍動感こそ一年間の生活のエネルギーの基調となる。

番組では、流水の接岸から海明けまでを紋別、網走、知床に取材し、流水の間から現われる青い海に、飛び出してゆく漁民達の解放感を描く。

放送は四月十六日(月)総合テレビ午後七時半からの予定。

〈北海道 7:30〉

大型ローカル番組

夜のゴールデン

タイムに登場

去年四月、大型ローカル番組として登場した「おはよう〇〇さん」は、三月でちょうど一年たちました。去年四月に放送した「おはよう端野さん」を始め、最終回の「おはよう紋別さん」まで管内十四市町村を訪れました。

この番組では、郷土芸能、産物産業、人物コーナーなどを中心に地域の皆さんに、気軽に出演していただき「郷土再発見番組」として好評を博しました。新年度からは、この大型ローカル番組が、よそおいもあらたに北海道30Vとして、夜のゴールデンタイム(毎月木曜日の夜七時三〇分〜八時、但し北見局制作放送分は第三本曜日)に登場します。

内容としては、文化・スポーツ・教育・音楽などあらゆる分野からわたくしたちが住んでいる北見地方を考えようというもので、北見放送局からの放送は四月十九日(木)が最初になります。北見放送局では、いま番組制作スタッフが連日いろいろなテーマを出し合い打ち合せて余念がありません。

本年暖候期の予想経過図

気 温	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
高 温	並	並~やや高	並	並~やや低		
降 水 量	並	少	局地的多	多 め		
日 照 時 間	並	やや多	並~やや少	ない		
気 圧 配 置	大陸の高	移動性高気圧	オホーツク海高気圧	北見高気圧	太平洋高気圧	移動性高気圧
天 気 傾 向	雪どけ	温 暖	寒 気 の 侵入	晩 霜 注 意	乾燥(山火事)	秋のおお

搾乳量の大巾な増進 乳牛8千頭を超える

乳 質 乳 量 増 産 共 励 会

乳 量 増 産 の 部 (個人)

(佐呂間地区)

(若 佐 地 区)

賞	順位	住 所	氏 名	総乳量	経産牛頭数	1頭当り乳量
最優賞	1	若 里	鈴木 市郎	112,320.2	16.5	6,807.2
優 秀 賞	2	佐呂間	横田 重勝	66,458.8	10.0	6,645.9
	3	仁 倉	津田 仁作	56,453.9	9.0	6,272.6
	4	"	広瀬 弘	55,400.5	9.0	6,155.6
	5	幌 岩	池田 富男	36,788.8	6.0	6,131.4
	6	若 里	遠藤 正治	46,037.9	7.6	6,057.6
	7	知 来	堀 正年	59,911.4	9.9	6,051.6
	8	佐呂間	藤原 正一	39,739.5	6.6	6,030.2
優 賞	9	知 来	沢田 光雄	40,173.0	6.7	5,995.9
	10	仁 倉	江淵 久治	48,371.0	8.1	5,971.7
	11	佐呂間	畑尾 武夫	46,986.5	8.0	5,873.3
	12	富 武	伊東 力智	58,690.0	10.2	5,753.9
	13	富 武	野原 忠雄	54,373.7	9.5	5,723.5
	14	幌 岩	田口 勘一	40,615.5	7.1	5,720.4
	15	佐呂間	森本 幸雄	35,391.5	6.2	5,708.3
	16	仁 倉	江淵 正美	54,779.7	9.6	5,706.2
	17	"	中村 富治	37,591.5	6.6	5,695.6
	18	知 来	大須賀 誠	33,992.5	6.0	5,665.4
	19	佐呂間	鈴木 郁雄	65,656.4	11.6	5,660.0
	20	"	杉山 静雄	46,245.0	8.2	5,639.6
良 賞	21	幌 岩	力 昇	36,069.0	6.4	5,635.7
	22	"	齊藤 昇	61,910.4	11.0	5,628.2
	23	佐呂間	長屋 麻一	72,543.0	12.9	5,623.4
	24	"	鹿島 高雄	58,320.4	10.4	5,607.7
	25	幌 岩	本田 義一	43,638.0	7.8	5,594.6
	26	"	本田 寅雄	46,023.8	8.3	5,545.0
	27	佐呂間	安藤喜佐雄	36,026.1	6.5	5,542.4
	28	佐 来	海老名 郁男	49,835.1	9.0	5,537.2
	29	若 里	定久 保男	65,713.0	11.9	5,522.1
	30	"	金子 周治	45,149.8	8.2	5,506.0
	31	仁 倉	惣田 正男	67,133.2	12.2	5,502.7
	32	佐呂間	久米 勝良	62,713.1	11.4	5,501.1

賞	順位	住 所	氏 名	総乳量	経産牛頭数	1頭当り乳量
最優賞	1	共 立	八矢 幸三	51,763.8	7.0	7,394.8
優 秀 賞	2	大 成	芝 昭夫	70,071.3	11.2	6,256.4
	3	中 園	長岡 光治	80,575.0	13.0	6,198.1
	4	大 成	松木 勉	106,670.5	17.4	6,130.5
優 賞	5	富 丘	湯浅 幸一	37,106.2	6.2	5,984.9
	6	栃 木	守口 公	53,640.0	9.0	5,960.0
	7	共 立	八矢 孝一	55,168.2	9.3	5,932.1
	8	中 園	沢井 泉	61,056.5	10.4	5,870.8
	9	富 丘	柳部 頼一	66,008.0	11.3	5,841.4
	10	大 成	柳原 安一	34,834.5	6.0	5,805.8
	11	富 丘	柳部 久夫	52,169.8	9.0	5,796.6
	12	大 成	山内 秀雄	47,034.7	8.2	5,735.9
	13	富 丘	北原 武男	88,631.0	15.5	5,718.1
	14	"	川又 利夫	66,253.5	11.6	5,711.5
	15	共 立	長瀬 義照	35,143.0	6.2	5,668.2
	16	朝 日	福田 幸教	65,257.5	11.6	5,625.6
良 賞	17	共 立	十亀 博	50,310.3	9.0	5,590.0
	18	富 丘	近藤 章	35,190.0	6.3	5,585.7
	19	"	藤田 徳	57,501.3	10.3	5,582.7
	20	中 園	川根 信吉	47,948.0	8.6	5,575.3
	21	富 丘	大戸 一夫	46,175.0	8.3	5,563.3
	22	大 成	浅田 一男	71,680.9	12.9	5,556.7
	23	富 丘	今部 富男	41,992.5	7.6	5,525.3
	24	"	佐藤 英昭	47,347.5	8.6	5,505.5

今年の農業基本調査の集計も漸く
終り、管内町村のトップをゆく牛
の頭数も八千頭を越し、一戸当り

一三・四頭と多頭化の目標に除々
に近づいてきています。町では、
毎年乳質、乳量の共励会を開いて

酪農家を奨励していますが、昨年
の乳量増産の部が発表になりました
たので、優良賞まで掲載します。

警察だより

暴力を追放しよう

毎年春になると、うららかな陽
気とともに暴力団の動きも激しく
なり、盛り場、行楽地などに姿を
現わし、さ細なことに因縁をつけ
て金をまきあげたり、理由もなく
いいがかりをつけてなくったり、
いやがらせをするなどの行為がふ
えてきます。どんな小さな暴力で
も、被害をうけたり、見たり、聞
いたりしたときは、勇気をもって
警察に知らせてください。かかわ
りあいになったりいやだとか、自
分には関係ないといって「見て見
ぬふり」をしたのでは、ますます
暴力団をはびこらせるばかりです
こうした被害の届け出や通報をし
ていただいたかたの保護には、道
警では万全を期しています。

◎融雪期の水の事故から幼児を守
りましょう
河川や池では、暖気のため氷は
薄くなり危険です。氷渡り、氷上
の遊び、河川や池付近のソリ、ス
キー遊びはやめさせましょう。

◎雪や氷の落下事故に気を付けま
しょう
屋根などから落ちる雪やツララ
等で大きな事故がおきています。

各家庭や商店では特に気をつけて
そのようなところは早目になくし
ておきましょう。

納める税金は どう計算するか

財産の評価ができれば、その財産の価額を合計し、その合計額から被相続人の債務や葬式費用の金額を差し引いて正味の遺産総額を計算します。そして、その金額から「遺産にかかる基礎控除額」と「遺産にかかる配偶者控除額」とを差し引いて課税される財産の価額を計算します。

次に課税される財産の価額を法定相続人が、法定相続分に応じて取得したものと仮定して、各相続人ごとの取得金額を計算します。そして、そのそれぞれの金額を基

「軽減」などの諸控除を行なって、各相続人の実際に納める相続税額を算出します。

「贈与税額控除」とは、相続や遺贈によって財産をもらった人が相続開始前三年以内に被相続人から贈与を受けた財産がある場合には、それを相続財産に加算して相続税額を計算することになります。つまり、贈与を受けた財産についての贈与税額を差し引くための控除です。

「配偶者の税額軽減」とは、配偶者の税負担を軽くするための控除で、その軽減額の計算方法には通常計算と特例計算の二つがあ

相続税シリーズ

(3)



として別表に掲げた「相続税の速算表」を使って税額を計算します。その税額を合計した金額が、相続税の総額となります。

相続税の税率は、取得金額六〇万円以下に対する一〇％から、一億五千万円をこえるものに対する七〇％というように、超過累進税率になっています。

この相続税の総額を、各相続人が実際にもらった財産の価額の割合によってあん分した額が、各相続人ごとの相続税額となります。

このようにして計算した各相続人ごとの相続税額について、各相続人のそれぞれの個別事情に応じ、「贈与税額控除」「配偶者の税額

いて計算される配偶者の法定相続分に対応する相続税額が控除されます。

次に、特例計算による配偶者の税額軽減は、被相続人との婚姻期間が、十年以上である配偶者が、相続税の申告期限までに遺産分割などによって財産をもらっている場合に限り適用されます。この計算によると、相続税の総額のうち①その遺産分割などによってもらった財産の価額と②一千万円に十年をこえる婚姻年数一年につき二百万円をのりて計算した金額を加えた金額（最高三千万円）とのいずれか少ない方の金額に対応する相続税額が控除されます。

また、これによって計算した金額が、通常計算によって計算した金額よりも少ないときは、通常計算によって計算した金額によること

が出来ます。なお、控除を受けるためには、相続税の申告書に、配偶者の戸籍謄本や遺産分割協議書の写しなどの書類を添付して、その申告書を申告期限までに提出しなければなりません。また、被相続人との婚姻期間が十年以上である配偶者であっても相続税の申告期限までに遺産分割などによって、財産をもら

っていない場合、または必要な書類の添付がない場合には、この特

例計算による配偶者の税額軽減の

相続税の速算表

各取得金額	税率	控除額
千円以下	%	千円
600	10	—
1,500	15	30
3,000	20	105
5,000	25	255
8,000	30	505
12,000	35	905
18,000	40	1,505
30,000	45	2,405
50,000	50	3,905
75,000	55	6,405
100,000	60	10,155
150,000	65	15,155
千円超		
150,000	70	22,655

適用はなく、通常計算によることとなります。

「未成年者控除」とは、未成年者の税負担を軽くするための控除で相続や遺贈によって、財産をもらった法定相続人が未成年者である場合には、その未成年者が満二十歳になるまでの年数一年について一千万円のわりで計算した金額が控除されます。

「障害者控除」とは、障害者の税負担を軽くするための控除で、相続や遺贈によって財産をもらった法定相続人が障害者である場合には、その障害者が満七十歳になるまでの年数一年について、一般障害者の場合には一千万円、特別障害者の場合には三千万円のわりで計算した金額が控除されます。

なお、相続によって財産を取得した人が、被相続の配偶者、子供（代襲相続人を含みます）または父母以外の人である場合は、その人の税額控除前の相続税額に、その二〇％を加算することになります。

NHK総合テレビでは

「市町村だより」を放送しています

毎月26日は 佐呂間町の時間です

午前6時58分と午後6時57分からです

普及所だより



気象台より三月十日、暖候期の天気予報が発表になりましたが、春は晩霜、夏季は低温の心配があったり、秋のおとずれが早い等作物の栽培には、充分注意をしなければならぬ年々です。

水 稲

昨年の秋は長雨により品質が悪かったようですが、種子用の粳は必ず発芽試験をして、能力を確かめましょう。

て ん 菜

てん菜の育苗も仕上げの時期となります。野菜等を入れているハ

確定申告は

まちがっておりませんか

昭和四十七年分の確定申告の期限内受け付けは三月十五日で終了しました。この確定申告のあとで、所得や税額の計算まちがいのあった場合には、修正申告や、更正の請求の手続きをして、正しい税額

ウスの換気は不足がちですが、主作物を第一に考えてください。単胚種子を使用しているかたが多いと思われるが、発芽状況が悪い場合は、早々に別のポットに追播をして、作付面積が減少するようなどこないようにしましょう。

果樹、野菜

冬がこいをしたブドウやリンゴの木の囲いを早目に取りのぞき、肥料(化成肥料の残り等)を少し根のまわりにまいてやりましょう。野菜の種子を蒔く時期になります。が「早く芽を出せ」で、床土に肥料をやらずにいいようにしてください。肥沃土なら移植前には無肥料でも良いでしょう。昨年書きましたが、風味の高い西洋野菜を作りましょう。

環 境 整 理

雪がとけると、どこの家庭でも家の回りがよくなっていきます。忙しくなると気があせり、つまらん物

につまづいてケガをしたり、車をこわしたりします。錆ついた農機具の整備等もあわせてしましょう。

牧草の施肥

牧草に肥料をまく時期となりました。雪がとけたら土が乾かぬうちに肥料をまくことが大切です。日照りが続いて土が乾くと肥料の効果がおくれます。肥料は、春先は磷酸分が多いもの。一番刈り以降は磷酸分の少ない肥料をまきましましょう。肥料は間違わぬようにしましょう。草地七号、八号、草地用一、一、一、若佐地区は、早春用の牧草化成肥料です。一〇アール当りの施肥量は四〇〜六〇キログラム位が標準です。

サイレージの量と質に注意しましょう

長い間貯えられたサイレージも量的にも少なくなつて品質も低下し、青草に放牧するまでの期間が

問題となる時期です。特に、サイロの底になると、水分が多くなり酸度が高くなります。このようなサイレージを多く与えますと、下痢をおこしたり、分娩後まもない牛などは、ケトージスの原因にもなりますので充分注意しましょう。また、サイレージが不足した時はビートパルプを補給しましょう。

放牧草地の管理

放牧地はできるだけ早く雪をとかし、草を早くのばして一日でも早く放牧出来るようにしましょう。また、雪どけ水のたまるような処は排水することも大切です。電牧や、牧柵、給塩や給水施設なども忙しくならないうちに完全に整備しておくことも大切です。荒廃した放牧地は、更新するか、追播をして、よい草地にすることです。肥料をやることも忘れずに行ないましょう。量は普通の牧草と同じでよいと思います。

納めた税金が少なかったり、還付金が多いことに気づいたとき、修正申告をして正しいものにしてください。

修正申告には、期限があります。また、確定申告を忘れていた場合には、期限後申告をすることができません。

申告を訂正する場合

(1)修正申告

更正の請求ができるのは、四十九年三月十五日までです。

期限後申告

期限後申告は、税務署から決定の通知があるまで、いつでも申告できますが、無申告加算税が五%かかります。

期限後申告をしないで、税務署からの決定の通知のあとでは一〇%の無申告加算税がかかりますのでご注意ください。

4月1日～5月1日

新入学 入園児を

交通事故から守ろう

春の交通安全町民総ぐるみ運動推進

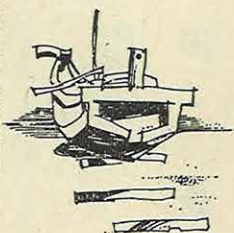
交通事故から守って楽しい通学



おぼえて

おいて

ください



五月一日から

国保「保険証」が

新しくなります

国保の保険証が、五月一日から新しい保険証にかわります。

係では、新しい保険証と取り替えるため、次の場所へ出向きますので、当日にお忘れなくお取替ください。なお、印鑑をご持参ください。

記

四月二十四日 午前九時～十二時

「栄公民館」 共並、大成、栄

啓生

「若佐支所」 午前九時～五時

栃木、富丘、朝日

中国、川西、武士

若佐市街

四月二十五日 午前九時～五時

「浜佐呂間出張所」

仁倉、浜佐呂間、浪速

梶岩

四月二十六日 午前九時～五時

「役場民生課」 知来、富武士、東

若里、西富、北

四月二十七日 午前九時～五時

二十八日 午前九時～十二時

「役場民生課」佐呂間市街

固定資産税

第一期の納期が

変更になりました

固定資産税第一期の納期は、例年四月一日から四月三十日までとなっておりませんが、昭和四十八年度は、土地に係る固定資産税の住宅用地に対して、軽減措置が講ぜられる見込みとなっていますが、この措置に必要な地方税法の一部改正が遅れているため、暫定措置として、昭和四十八年度に限り、固定資産税第一期の納期を、六月一日から六月三十日と変更になりました。

なお、第二期以降の納期は従来どおり、八月、十月、十二月です。

佐呂間町公民館の

婚礼使用料が一部

減免になります

最近、婚礼の現行会費では、物価高を理由として賄いきれないという声もある反面、案内状などの印刷、引物などの外面の紛飾に流れている傾向がある等の発起人のかたがたからの反省もきかれます。

そこで、町公民館運営審議会では協議して、本年度は、新生活運動の一環を担い、次のとおり改めて四月一日から実施いたしますので、お互いに協力し合います。

婚礼使用料減免の範囲

会費

千円（従来通り）以内

参加人数 一五〇人以内

農業行政推進会議

四月上旬 公民館

農業労務者受入協議会

四月中旬 公民館

牧野利用組合長会議

四月中旬 公民館

乳児検診

四月十八日 午後一時

浜佐呂間公民館

幼児検診

四月十一日 午後一時

社会福祉会館和室

十二日 午後一時

若佐 公民館

二十四日 午後一時

浜佐呂間公民館

妊婦検診、母親学級

十日 午後一時

福祉会館和室

一般健康相談日

毎週土曜日 福祉会館

午前九時～正午

役場の執務時間が

四月一日から

変わりました

平日 午前八時三〇分から

午後五時で

土曜日 午前八時三〇分から

正午まで

町政日誌

三月

臨時第二回町議会

中卒就職者激励大会

町民スキー大会

市町村だより打ち合せ会（北見）

農漁者育成対策打ち合せ会

合合せ会

十二～二十日

新年度定例第一回町議会

米の生産調整説明会

サイレーン品質共励会

共立地区明渠排水説明会

酪農経営発表コンクール

佐呂間町青年団体協議会総会

道管佐呂間地区畑総事業期成会総会

第二回社会教育委員会公民館運営審議会

農業基本調査結果表審査（支庁）

春の交通安全道民総ぐるみ運動協議会

町長上京（国鉄閑散線役員会、文教施設陳情）

婦人団体長企画会議

フラワー講習会

職員研修会

二十七日

二十九日

『夢ある酪農にするため』

優秀賞 浅田 正一 くん

—— 第四回 酪農経営発表大会 ——



酪農経営発表大会で、大成の浅田正一君が、優秀賞に選ばれました。先月十七日、佐呂間公民館で、全道十地区からの代表が集まって第四回酪農経営発表コンクール（主催、森永酪農振興協会、後援、農林省）が開かれました。会場は、町内外から百数十名の聴衆が詰めかけ、熱心に聴き入っておりしました。

各発表者の内容も、研究調査されたもので、なかなか内容の濃いものでしたが、増上での発表は、なれないせいか少々あがり気味でした。当町から、大成の浅田正一君が「夢ある酪農にするため」と題して発表しましたが、審査の結果、優秀三名の中に選ばれました。

町議会議員 十五年勤続

石村善治さん 表彰される

—— 全国町村議会議長会より ——

永年功労者（勤続）

などで

村上道蔵さん
部田好彦さん

表彰される

永年消防に功労があった幸町の村上道蔵（消防団長）さんが、北海道知事から、先日功労賞を受けました。また、浜佐呂間の部田好彦（第二分団長）さんは、永年功労者（勤続）として、日本消防庁々官表彰と、精進賞として日本消防協会からそれぞれ表彰を受けました。

着任のご挨拶

佐呂間町助役 西田 勤

対外情勢に対処する

大同 団 結

佐呂間、若佐農協合併予備調印

—— 六月一日に発足 ——

予備合併農協



た。一方、上佐呂間農協の設立などもあって二町村三農協と狭い範囲の中で小規模な経営体同居しており、内外の変動に大きく左右されておりました。昭和二十九年、一村一農協ということで、上佐呂間、若佐農協が統合しました。若佐農協が合併した。若佐農協が合併した。若佐農協が合併した。

佐呂間、若佐両農協が、先月二十四日、合併予備契約調印を行ない、六月一日を目途に新しい段階に第一歩を記しました。

佐呂間、若佐農協が発足したのが昭和二十三年四月でしたが、当時は、若佐村分村のときで、農業協同組合法も新たに制定された直後で、新しい気運が充実しており非常に活気がみなぎっておりまし

合しました。若佐農協が合併した。若佐農協が合併した。若佐農協が合併した。

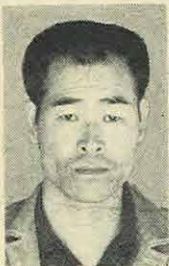
今回新しく機が熟して合併という新しい段階を迎えた訳ですが、新農協の理想的な型になり、これからの飛躍発展が大きく期待されます

部落から

片側の鼻の穴のない

仔牛が生まれる

水平線



自分が漁業に従事したのは、中学を卒業してすぐだから、今から十七年前でした。

当時の漁業は、回遊魚を主体にした漁業経営で、日常の生活なども現在とでは話にもならない不安定なものでした。

今年、暖冬異変で春が間近にきているように思う。我々の活動の場であるサロマ湖の海明けも、いつもに近く早いように感じます。

漁村に生まれ育った我々は、広い海を船にのって走り廻っている時が一番生きがいを感じます。

養殖漁業に生きがい

雪の陽ざしまだ佐呂間山の連山に白衣の勇姿を飾り、近くて速き春を想わせる今日この頃佐呂間町々民の皆様にはますますお健やか



にお越しの事と拝察申し上げます。さて私、このたび前助役、土田正様の後任として佐呂間町にお世話になる事に相成りました西田勤でございます。

もとより浅学非才の身でありますが、船木町長様のご指導のもと過般開催されました佐呂間町議会における町政執行方針の意義を心し、町役場職員一同ともども、発展途上にある佐呂間町の産業振

サロマ湖とオホーツク海を漁場とした小型漁船による漁業のため、時化の時などは湖口の出入りなどは本場に危険なもので、漁師なんてするんでなかったと思った事も何度かありました。

その後、何年かたって帆立貝の養殖研究がなされ、先輩のかたがたの努力によって研究が成功し、企業化されて現在に來たわけですから、我々青年も希望を持って働けるようになりました。

夏は養殖漁業に専念し、冬期間には研修の場を求めて勉強をする。情報化時代と云われている現在、これにすこしでも対応出来るよう我々青年が一生懸命勉強をしているのです。

全道の沿岸漁村での後継者問題が深刻な情勢の中で、我々の浜では高校、大学を出て、沢山の若者が浜へ帰って来ており、これから

興に、そして公平適切にして明るく住みよい郷土建設の実現に邁進する所存でございます。

何卒、町民の皆様におかれましても、前助役様同様にお引立下さいますようお願い申し上げます。本来なれば拝眉の上家族ともどもご挨拶申し上げるべきが本筋ではございますが、取り敢えず本紙をもって着任のご挨拶と致します。

の養殖漁業に大いに活動することと思ひます。

本年より五ヶ年計画で、新湖口の屈削事業が始まるそうですが、この新湖口が完成する事によってサロマ湖における漁業生産も大きく伸展していくことが予想されております。

我々青年も、気をひきしめてサロマ湖を充分に活用して、これらの養殖漁業に一層の努力を重ねなければならぬと思っております。ただ、生産増大による流通問題などもありますが、その点は上のかたがたにまかせておいて、我々は消費者の皆さんに安くておいしいサロマ湖の帆立貝を喜んで食べていただけるよう生産に努力していきたいと思っております。

若里 石原洋三郎



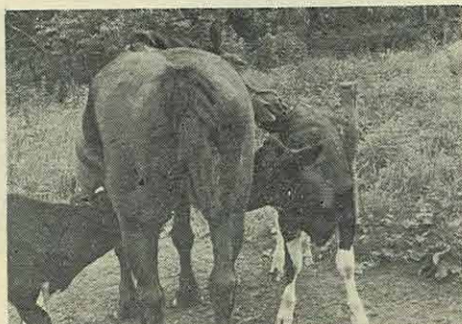
富武士 大沢道夫さん宅

この珍しい仔牛ができたのは、富武士の大沢道夫さん宅です。先月の二十五日誕生した雄の仔牛で、いま元気に育っていますが、

馬乳が牛乳に変わる？

仔牛が母馬の乳を

チュウチュウ吸って育つ



(写真は共済、川井獣医さんの提供です)

これは、富武士の福田松三郎さん宅のはなしで、この母馬(12才)と仔牛は同じ牧場で、いつでも仲よく遊んでいたものですが、いつのまにか仔牛が母馬の乳を呑むようになったといっています。

ふつう馬の場合は、ほかの馬の仔がそばへ来てもけとばして寄せつけないのに、この仔牛に対しては、母性愛をくすぐられるのか、わざわざ呼ぶようにして乳を与えます。飼主の福田さんも「長年、牛や馬を飼ったが、こんなのは始めて」といって驚いています。

右側の鼻の穴がなくて、しかも鼻筋が左の方へ極端に曲っています。これは、歯を覆っている上唇の部分が欠けて型成されておらず、歯が外側へむき出しになっており、よく口の中を調べてみますと、上あごが半分欠けて、片方の鼻の穴が口の上あごのところへ通じています。このような奇けいは、町内でも珍らしく近所の話題になっています。

バレーボール協会が

結成されました

会長に 小田 稔さん

最近バレーボールは、老若男女を問わず、広い層のかたがたに、愛好されるスポーツとして、全国的に盛んになっており、本町においても一昨年より、ママさんチームが結成されて以来、よい成績をおさめつつあります。

多くのかたがたの参加を希望いたします。

佐呂間町バレーボール協会役員

会 長 小田 稔
副会長 田町 幸夫
主 事(事務局) 宇佐美不二夫

審判技術指導部長

会計監査

富崎 敏憲
為広恵美子
阿部与志輝
曾我美智子
各チーム代表者

今後は本協会が中心となり、町内におけるバレーボールの普及を図るため、技術指導及び各種大会など、総合的に事業計画をすすめることになりました。

道夫と家



水町社

「冬晴れ、春風」

- 春風に輝き深く汐満つる
- 揚げ船に鴉の集ひ冬晴るる
- 春の風球打つ球のはずみかな
- 冬晴や急凍走る岩清水
- 雪目にて読まざるページ春風めくる
- 冬晴や学童のスキー列長く
- 春風に郷愁託す齡かな
- 仲川 老女
- 冬晴れて險にしみる峰の雪
- 北国の春風吹いて来るのは雪の上
- 冬晴れて鳥一むれ雪の原
- 春風の音はきけども肌に沁みる
- はいつのこと 江田 由紀子
- 長々と昼寝の犬にツララ落ち
- 春風は息子にガールフレンド又ふやし
- 春風を震わせ急患告げ来る
- 再来すオホツクの流水に風光
- 春風や今日も牛の背暖めて
- 冬晴にふとん干す手をふと休め
- 遠けき母を恋想う
- 大戸 りつ子
- 悲しみに人の命のはかなくて土に帰し父と呼べども
- 在りし日に父と旅した思い出に今なつかしの惜別の歌
- 辻 敦子
- 花嫁に添いて飛機立つ我子よ高く大きく春風にはばたけ
- 風夫我れに母在り妻よく扶け子ら健やかに生くる幸せ冬晴れの朝
- 矢口 斗洋

寄付

社会福祉協議会へ

- 参千円也(長男智殿全快祝い)
- 幸 町 松田 信幸殿
- 五千円也(病氣全快祝い)
- 永代町 太田 喜政殿
- 老万円也(亡妻美智子殿香典返)
- 西 富 垂水弘良殿
- 老万円也(亡父伝次殿香典返し)
- 仁 倉 江淵久次殿
- 貳万円也(長男光教殿香典返し)
- 宮前町 中原孝一殿
- 老万円也(亡次女道子殿香典返し)
- 若 佐 橋本 悦三殿
- 浜佐呂間公民館へ
- 五千円也(設備資金として)
- 浜佐呂間 いづみグループ

身障者佐呂間分会へ

- 参千円也(亡妻美智子殿香典返し)
- 西 富 垂水弘良殿
- 若佐老人クラブへ
- 五千円也(亡父源三郎殿香典返し)
- 若 佐 高橋 スケ殿
- 老万円也(亡父長次殿香典返し)
- 若 佐 松本 次賢殿



四月五日付で人事が発表されたおおかたの予想と違い、課長職の異動と新係長の昇格で、庁内は代る方も迎える方も気忙しい毎日でした。

決まる数日間は、そわそわして落ち付かなかったが、決まってしまうと、そこはなれたもの、もとの平静に戻る。

新年度に入って、いずこの職場でもみられる風景でした。